

第 23 節 心臓血管外科研修〔選択科向け研修〕

卒後臨床研修期間中に、当科ローテートを希望したレジデントを対象とし、1ヶ月研修とする。

一般目標

- ① 心臓血管手術、術前の検査方法、術後の呼吸循環管理、基本的な薬剤の使用方法を理解する。
- ② 心臓大血管手術の助手を経験する。
- ③ 外科専門医取得のための心臓大血管手術、末梢血管手術の症例を経験する。

具体的目標

1. 病棟

- ① 患者を受け持ち、指導医の下で日常業務の修練に徹し、専修医とともに初動医として対処する。
- ② 循環、呼吸動態を勉強し、集中治療室において専修医とともに術後管理を行う。
- ③ 基本的な薬物治療を勉強する。

2. 検査処置

- ① 診断、治療方針決定に必要な検査法の理解と診断法を勉強する。
- ② IABPの挿入、中心静脈圧、スワンガンツカテーテルの挿入などを専修医とともに行う。

3. 手術

- ① 開心術の第二、第三助手を勤める。
- ② 内シャント増設術を経験する。
- ③ 人工心肺の仕組みを理解する。

4. カンファランス

- ① 簡単な症例は受け持ち、患者の治療計画をたてプレゼンテーションを行う。

実臨床研修

毎日、上級医とすべての受け持ち症例、ならびに手術症例について臨床症状、画像所見、検査所見、手術内容の検討を行う。またそれを、カルテに日々記載する。

初期救急対応、当直対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

当直は、指導医の指導の下に、外来や病棟での救急対応を行う。

研修評価

研修期間中の達成度を、部長および担当の上級医で協議し、評価還元する。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	手術	外来診療	手術	手術	外来診療		
午後	手術	病棟業務	手術	手術	病棟業務		